

(誤)

3) 妊娠経過 現在の産褥経過に影響を及ぼす妊娠経過をアセスメントし、必要な看護を行う。		
観察項目	アセスメントの視点	解釈
母体の健康状態	妊娠中の身体状態はどうか 妊娠高血圧症候群（血圧・尿蛋白）、妊娠糖尿病（血糖値、尿糖）、貧血（ヘモグロビン、ヘマトクリット）、切迫流早産（腹部緊満、性器出血）、体重の変化、血液型不適合妊娠	- 血液型不適合妊娠の場合、分娩直後に母体血の間接クームス試験、臍帯血の直接クームス試験を行い、陰性であれば抗体産生を予防する目的で、分娩後 72 時間以内に母体へ抗 D ヒト免疫グロブリンを投与する。 - 子宮増大に伴う静脈瘤、痔核、腰痛などは、産褥期も症状が持続し、動静に影響を及ぼす可能性がある。
母体のマイナートラブルと対処方法	産褥経過に影響するマイナートラブルはないか 静脈瘤、痔核、便秘、腰痛など	現在の育児に影響を及ぼす児の状態をアセスメントする必要がある。
胎児の健康状態	児の健康状態はどうか（異常が指摘されていたか） well-being（胎児心拍数、胎動、NST、羊水量）、成長発達（子宮底長、腹囲、推定体重、大横径）、胎児付属物	胎児機能不全や胎児発育不全、胎児付属物の異常を指摘されている場合、褥婦は産後も継続して不安を抱きやすい。

(正)

3) 妊娠経過 現在の産褥経過に影響を及ぼす妊娠経過をアセスメントし、必要な看護を行う。		
観察項目	アセスメントの視点	解釈
母体の健康状態	妊娠中の身体状態はどうか 妊娠高血圧症候群（血圧・尿蛋白）、妊娠糖尿病（血糖値、尿糖）、貧血（ヘモグロビン、ヘマトクリット）、切迫流早産（腹部緊満、性器出血）、体重の変化、血液型不適合妊娠	血液型不適合妊娠の場合、分娩直後に母体血の間接クームス試験、臍帯血の直接クームス試験を行い、陰性であれば抗体産生を予防する目的で、分娩後 72 時間以内に母体へ抗 D ヒト免疫グロブリンを投与する。
母体のマイナートラブルと対処方法	産褥経過に影響するマイナートラブルはないか 静脈瘤、痔核、便秘、腰痛など	子宮増大に伴う静脈瘤、痔核、腰痛などは、産褥期も症状が持続し、動静に影響を及ぼす可能性がある。
胎児の健康状態	児の健康状態はどうか（異常が指摘されていたか） well-being（胎児心拍数、胎動、NST、羊水量）、成長発達（子宮底長、腹囲、推定体重、大横径）、胎児付属物	- 現在の育児に影響を及ぼす児の状態をアセスメントする必要がある。 - 胎児機能不全や胎児発育不全、胎児付属物の異常を指摘されている場合、褥婦は産後も継続して不安を抱きやすい。